

あけましておめでとうございます。

長崎大学人、河野茂です。

皆さんのお正月はいかがだったでしょうか。

また、病院関係の皆さんや当番の方等は、正月返上で勤務され大変ご苦労様でした。

本題に入る前に、ひとつ確認させて下さい。

本学は、教育研究機関であり、特に大学院においては、研究者を育成する機関でもあります。

一部報道におきましては、誤解を与えるような文章が掲載されましたが、私自身はもとより、本学のすべての教員が、未来を切り開く研究者の育成に心から尽力しています。

その点は、これまでも、これからも長崎大学の教育においてブレることない軸です。大学院生の皆さん、大学院へ進もうとする皆さん、安心して下さい。

さて、3年前、2020年の1月4日に私は初めて全学生と教職員に向けてメールを書き、メッセージを送りました。

予想外に反響があり、以来、現在に至るまで長く続いています。読んでくれてありがとう。

しかしながら、このメールも今年で終わりとなります。

私の長崎大学教員としての活動は、今年の9月30日をもって終了します。

最後まで、全力で任務を全うしたいと元旦に決意したところです。

さて、私の一連のメールには、3つの柱があり、

皆さんのおかげで概ね良い結果を生んだと思います。

1. プラネタリーヘルス宣言を行い、結果として「学環」という組織へ発展しました。
2. 長崎大学人とは何かを問い、コロナ禍においても前向きに挑戦する姿勢を示しました。
3. 情報発信元年と位置付け、様々な媒体を使い本学の情報を発信しました。

幸にも、数多くの返信があり、全員に応えることはできませんでしたが、私は皆さんから元気を頂きました。

返事をもらった数名の学生と実際に会ってみて話もしました。

趣味（山登り）の話は、反響がよく、教員や学生の有志と、山登りイベントへつなげることもできました。

また、ある先生からの提案が、プラネタリーヘルスの研究へとつながった事もありました。

驚いたことに、高校生の時このメッセージを読んで、受験を決意したという学生からのメッセージももらいました。

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/pickup/message.html>

私自身、大学のホームページからこのメッセージが見られることを知らず驚いた次第です。

私の想定以上の反響と波及があり、大変うれしく思っております。

残り少ないメッセージの発信となりますが、今回は、数回にわたり今年の抱負等を発信したいと思います。

ぜひ、みなさんの今年の抱負をお聞かせください。

兎年にちなんで、皆さんの飛躍の年になりますように。

メッセージをお待ちしております。お気軽にメールください。